

LFSの運用画面イメージ

システムの運用はWindows、Android、iOS対応で、現在使用されているPCやタブレット端末、ウェアラブル端末からでも操作が可能です。モバイル端末に関しては、Androidのみのサポートになります。

メインメニュー画面



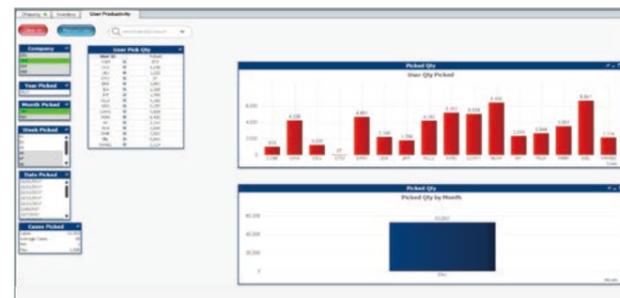
タイルスタイルのメニュー画面は、必要なアイコンのみを表示させたり、配置や配色を変えることが可能です。

アラート機能



入荷数、ピッキング数、棚番・保管場所の占有率等の警告機能により、物流事故を未然に防ぎます。

ソース管理：各倉庫作業者のピッキング業務分析



日、週、月、年単位での業務実績をレポート化し、適切なリソース管理を行います。

リアルタイム在庫管理：在庫数/先入先出実績/賞味期限管理



在庫運用のレポート化で、在庫の適正管理を行うことができます。

EPGとは

エルハルト パートナーグループ(EPG)は、世界をリードするロジスティクス専門企業の一つであり、LFSソフトウェアスイートを使用して、すべての業界・業種に包括的なソリューションを提供しています。LFSは、サプライチェーンを実現するシステムとして、世界中で使用されており、ロジスティクスプロセス全体をすべてのユニットで管理および制御しています。EPGは、1987年に設立され、現在17カ所で630人以上のスタッフが働いています。そして、世界中の1,500カ所以上の物流センターと100,000人を超えるユーザが、倉庫管理システムLFSを使用しています。

安全に関するご注意 ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください

- EPGは、独逸エルハルトパートナーグループ社の登録商標です。 ● EPG/LFS、LFS.gatewayは、独逸エルハルトパートナーグループ社の登録商標です。 ● Linuxは、LINUX、ライナックスの登録商標です。
- Windowsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。Androidは、米国グーグル社の登録商標です。iOSは、米国アップル社の登録商標です。 ● MS SQL、MS Dynamicsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- My SQLは、米国オラクル社の登録商標です。 ● Oracle、米国オラクル社の登録商標です。 ● IBM iSeries、IBM DB2は、IBM社の登録商標です。 ● Inforは、インフォ グローバルソリューションズ社の登録商標です。
- Sagelは、英国セージグループ社の登録商標です。 ● SAPIは、独逸エスエイビー社の登録商標です。 ● X86は、米国インテル社の登録商標です。

Auto-ID, Network and Integration

Ainix アイニックス株式会社
AINIX Corporation

本社 〒153-0044 東京都目黒区大橋1-6-2 池尻大橋ビルディング
TEL(03)5728-7500 FAX(03)5728-7510

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-22-20 川丸ビル
TEL(06)6838-3071 FAX(06)6838-3117

名古屋営業所 〒461-0011 名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル
TEL(052)950-7510 FAX(052)950-7570

<http://www.ainix.co.jp/>

倉庫管理システム EPG | LFS

業界・業種に依存しない クラウド型物流ソリューション



物流の効率化と保守コストの削減

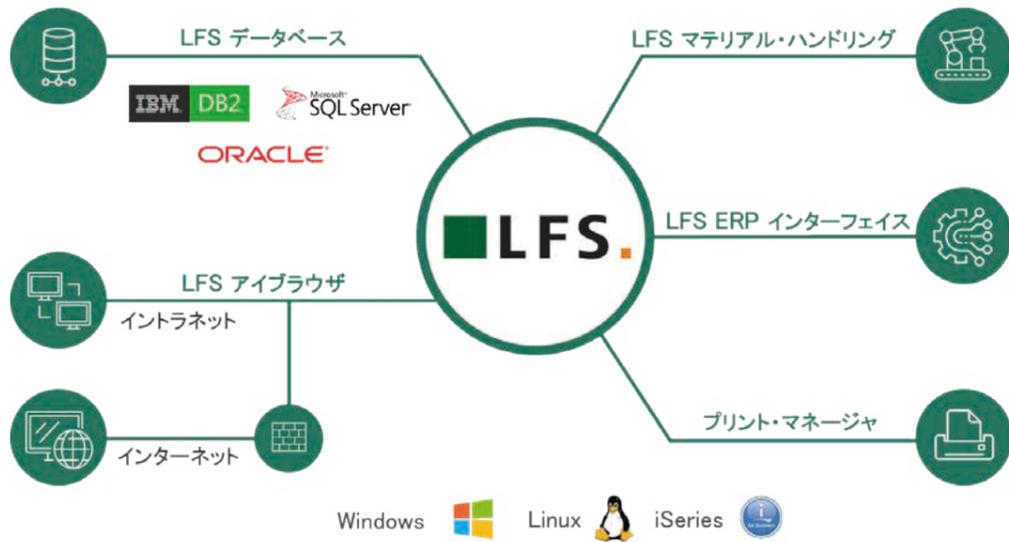
クラウド型倉庫管理システムLFSは、世界で最も強力な倉庫管理システムの一つであり、あらゆる業界・業種に依存することなく使用することができます。多種多様な業界とさまざまなユーザからの要望に対する適応性の高さは、お客様の物流プロセスの効率的な運用と管理を約束します。デジタル化されたロジスティクスにおける重要な要素は、倉庫内業務と情報をサプライチェーン全般にわたってシームレスに視覚化するソリューションを持つことです。

LFSは、物流および情報のフロー全体を計画的に管理し、倉庫スタッフおよび物流機器のすべてのリソースを計画的に運用します。したがって、ワークフローの効率が各段に上がり、顕著なリソースコストの削減ができます。また、クラウドにより低コストで長期にわたる保守を可能にします。LFSの倉庫管理ソリューションは、シンプルな倉庫管理から洗練された物流の自動化まで、あらゆるタイプの倉庫に適しています。

アイニックス株式会社

複数のOSとデータベースをサポート

LFSは、Linux、Windows、およびIBM i5で実行されます。LFSの基本モジュールは、事前に構成されたスターターパッケージとして提供され、広範囲で均一なロジスティクス基本要件を満たす倉庫管理システムとなっています。他のすべてのモジュールはプレインストールされており、必要に応じていつでもアクティブ化することができます。高度にパラメータ化されていることにより、LFSは将来、お客様が機能の追加や手順を変更したいときに、



LFS テクノロジスタック

- ・ LFS アプリケーションサーバ
- ・ LFS セッションコントローラ
- ・ LFS ライフサイクル管理
- ・ プリント・マネージャ
- ・ LFS データベース層
- ・ LFS ERP インターフェイス
- ・ LFS マテリアル・ハンドリング

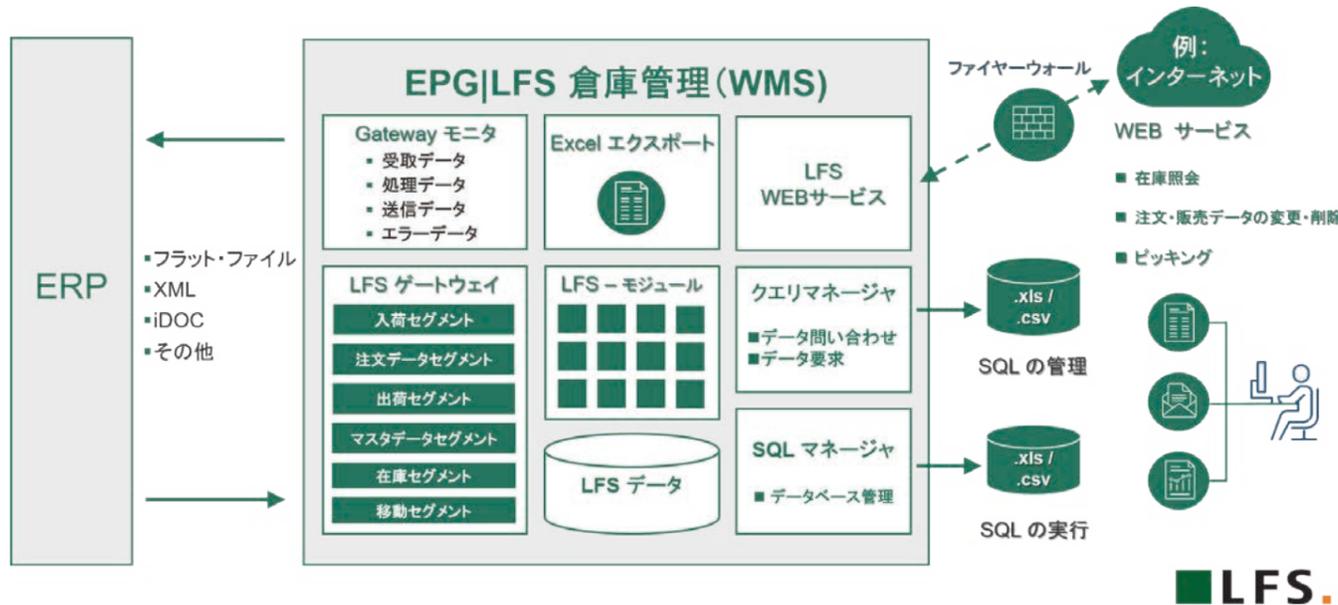
LFS iBrowser

- ・ LFS セッションコントローラ
- ・ データ圧縮
- ・ 外部デバイス
- ・ ウェブ・ブラウザ
- ・ 独立型プラットフォーム
- ・ SSL 暗号化
- ・ (履歴)更新管理
- ・ LFS Wiki ヘルプ / ドキュメント

迅速なマスターデータの移行

マスターデータの移行は、安全かつ迅速に行われることが非常に重要です。LFSでは、安全でシンプルなデータ移行を約束し、かつ迅速にデータを統合させることで、従来のWMSでは実現できなかった運用開始までの期間を大幅に短縮します。これは、LFSの特長の一つでもあり、採用・導入における大きな利点の一つでもあります。

マスターデータを取り込むためのファイル形式や変換方式には、ERPシステムとの互換性のあるフラットファイル、XML マッピング、Gateway マッピング、iDoc 定義ファイル等があります。このことにより、既存のデータ形式のままマスターデータを取込むことが可能になります。



他のシステムとの連携

LFSは、従来のERP、WMSおよびMRPシステムとの通信インターフェイスを持っています。したがって、SOA (Service Oriented Architecture) 環境で使用されるサービスや個別にカスタマイズされたシステム、または、独自に開発されたシステムとも簡単に接続ができます。例えば、SAP、ORACLE、Sage、Microsoft DynamicsなどのERPシステムへの標準インターフェイスを持っています。

LFSの導入価値

1 業務に合わせて柔軟にカスタマイズ

LFSの最大の特長は、その比類ない豊富なモジュールにより業務に合わせて物流業務フローをカスタマイズできることで、原則として有償カスタマイズが不要なほど拡張性・柔軟性に富んでいます。従来の倉庫管理システムでは、倉庫、機械部品、EC、食品/飲料、エレクトロニクス、化学/薬品等、それぞれのシステム構築が必要でした。LFSは、初期設定で機能、画面、帳票、ラベルなどをカスタマイズできるので、独自のシステムとして使用できます。もちろん導入後でも機能の追加や変更が可能であり、有償カスタマイズにも対応しています。

2 クラウドによる投資額削減

LFSは、オンプレミス型とクラウド型が選択できますが、サーバ型を推奨しています。サーバ型は、サーバ費用の他、サーバ設定やデータベース設定などの初期投資額を削減でき、最短で数か月の短期間導入を可能にします。また、OSやデータベースのバージョンアップに伴う手間とコストが不要となります。クラウド管理にすることで、必要なリソースを必要な分だけ利用できます。つまり、ITリソースを無駄なく、過大なコストをかけずに利用することで、投資額の削減を見込めます。

3 複数のクライアント接続に対応

物流は、需要に応じて迅速に対応しなければなりません。LFSでは、海外を含む複数の拠点や3PLの複数のユーザがそれぞれのアカウントでログインできるマルチクライアント接続が可能です。つまり、システムを利用する拠点の数に関係なく、また、システムの操作者の数に関係なく、すべてのサイトにシングルライセンスで対応できます。したがって、異なる言語のサイトや複数拠点のサイトを一元管理することができ、複数ライセンスを購入するコストを抑えられます。なお、サーバ経由で他の拠点との通信も可能になります。

4 ハンディターミナル連携

ハンディターミナルは、倉庫内業務を円滑に進め、人的な転記の手間やミスをなくすために非常に有用なツールです。商品管理、棚番ロケーション管理、入出庫エラーの削減、リアルタイムの入出庫管理、シリアルナンバーの自動入力等、幅広い業務にて効率的でミスのない業務を支えます。なお、ハンディターミナルは、Zebra社製を標準としていますが、Android対応であれば他の製品も使用できます。必要に応じて、ご使用されるハンディターミナルの要件定義をおこないます。

これらのシステムは、LFSと高いレベルでの統合を可能とし、運送会社、税関、オンラインショップシステムへの接続は、すでに複数のプロジェクトで実現されています。他のコンピュータやシステムと連携したとき、トラブルの無いデータ交換や、EDI、IDocs、XML、FTP、DDM、TCP/IP MQ Seriesソケット接続等が保証されています。LFSは、製品識別および材料フロー制御に関するISO 9000認証を受けています。

5 シンプルなSAP連携

最適な倉庫管理ソフトウェアを選択する場合、システムインターフェイスの問題も非常に重要になります。既存のSAPシステムへの接続がより広範で複雑であるほど、インターフェイスのプログラミング時に必要な労力は大きくなります。そこで、LFSは、SAPエコシステムで欠けているパズルのピースを提供します。LFSとSAPは、SAPシステムインターフェイスを介してリンクしているため、プログラミングの労力を最小限に抑えることが可能です。認証条件に従って、適切な構成設定が行われると、インターフェイスはすぐに使用できます。

6 さまざまなピッキング技術

従来のペーパーピッキングの他に、出荷効率が非常に高いマルチオーダーピッキングに対応します。ここでは、LFSからのピッキング指示を確認する手段として、音声指示によるLydia®Voice、LED点灯によりピッキング指示をするPick-by-Light、ピッキングした商品をコンベア搬送およびソーティングさせるPick-to-Beltなどがあります。更に、RFIDアンテナを搭載したカートを使う事で、商品を格納するたびにRFID検品ができる技術により、ピッキングエラーの削減にもつなげます。

7 グローバル対応

グローバル企業は、複数言語対応でシンプルなソフトウェアを使用し、商品フロー全体を制御できる倉庫管理システムを求めています。LFSは、設定でローカル言語に変更でき、ドイツに置いたクラウドシステムをグローバルに使用するので、シンプルで効率的なワークフローを提供できます。日本語、英語、中国語などの16言語に対応しており、ご利用されるLFSソフトウェアのバージョンに関係なく、契約により24時間、年中無休でサポートを受けることができます。但し、日本語でのサポートは、平日の昼間に限定されます。

8 倉庫業務の改善と促進

棚卸結果から作成される分析レポート等の各種分析レポートは、適切在庫を保つことができ、柔軟な返品管理等の業務改善にもつながります。柔軟なシステム連携により適切なクロスドッキングを行うことが可能で、出荷効率を大幅に向上させます。更に、品質異常品のロット管理/シリアル番号の適切管理により、入出庫業務や注残分の管理がしやすくなり、希望納期の達成率を飛躍的に伸ばし、結果として顧客満足度の向上を促進します。